



有限会社 博善社

代表取締役 みちだ さとる 三千田 悟氏



PROFILE

昭和34年生まれ。小倉北区出身
 昭和56年 有限会社博善社 入社
 昭和59年 一般葬祭専門士認定
 平成 4年 代表取締役就任
 平成 8年 1級葬祭ディレクター取得
 平成24年 全葬連葬儀事前相談員資格認定

小倉南区葛原、土吉田、小倉北区三萩野に、現代の葬式ニーズに対応した3タイプの斎場を持つ博善社花分会館。三千田社長に、北九州市立大学3年東原詩乃さん、2年松本拓哉さんが若者の視点でインタビューを行いました。

●このページは取材文章作成を学生が手がけています。

一生に二度しかない大切な方とのお別れ。お客様の納得がいくものに。

社長として日々心がけていることや、信念について教えてください。

身近な人が亡くなり、繊細な状態のお客様を相手にしているため、スタッフの立ち居振る舞い一つひとつに気を配りながら接客することを心がけています。斎場の清潔さであったり、行動の丁寧さであったり、いづれもお客様が来られても、お客様と同じ価値観を持って対応することがとても大切になりますね。また、葬儀は2、3日続くため、お客様とのファーストコンタクトを大事にしています。お手伝いをし、感謝の言葉を直接いただいた際は喜びを感じますね。

花分会館の特長やアピールポイントはなんだとお考えですか？

特長としては、フロアごとにコンセプトを



左から東原さん、三千田社長、松本さん

持った式場を用意していることです。例えば、葛原斎場の1Fは家族団らんの中で葬儀が行えるよう、自宅のような雰囲気の中になっており、2Fでは、多くの参列者を招くため大きめの式場になっています。また、葬儀にかかる価格を公開していることも特長の一つです。葬儀業界で価格を公にする会社はあまりありませんが、お客様に安心して利用していただくためにこのようにしています。

遺骨の新しい納骨方法に関して教えてください。

少子化や核家族化の進行で、ここ10年のうちに家族葬がスタンダードになってきました。ひと昔前では、葬儀は慣習や世間体に従って行われ、納骨も四十九日の後とされてきました。現代ではそうした風潮が薄

れ、家族で納得・満足するものであれば良いというものに変わってきました。そうした社会の流れの中で粉骨や散骨のサービスが普及してきています。花分会館では、お客様のご遺骨を専門の器具で洗浄、乾燥、殺菌などを施し、丁寧に粉末化しています。粉末化された遺骨は、お客様によって散骨されたり、身近で供養されたりと様々です。このサービスには遠方からお客様も来られ、多くの方から感謝の声をいただいております。大変やりがいを感じております。

花分会館として、また、社長自身としての今後の展望や願いをお聞かせください。

小倉南区をはじめ地域の方々から「花分会館で葬儀をして良かった」と思ってもらえるように努力していきたいと考えています。また、葬儀は普段あまり考えたくないことかもしれませんが、いつか必ず迎えないかもしれません。葬儀に関する知識を持っている人が少ないと感じるので、多くの人にもっと葬儀への関心を抱いてもらいたいというのが願いです。



3F 家族葬ホール
モダンで綺麗な祭壇には驚きました。(東原)



1F 和室の団らん葬
自宅のように落ち着ける空間でした。(松本)



葛原斎場(小倉南区葛原5-3-20)



ホームページをご覧ください。

花分会館公式サイト
<http://www.hanahanakaikan.com>

手元供養品 (お部屋のお墓マイメモリー)
<http://jitakukuyou.jp>

粉骨サービス (自分散骨のススメ)
<http://funkotu.jp>

24時間365日対応 「お葬式相談ダイヤル」

0120-0983-92

FreeDial